香川県高等学校体育連盟

令和３年４月

高体連主催大会開催にあたっての安全対策ガイドライン（共通）

１　大会を開催するにあたって

大会の開催に際しては、選手・役員等をはじめ大会関係者全員の安全・安心の確保を最優先とし、開催する場合は、中央競技団体や全国高体連、競技ごとに示す安全対策ガイドラインに則って、十分な感染防止対策を行うこととする。

1. 大会会場の適切な感染予防対策等の実施
2. 密閉空間・密集場所・密接場面等の感染リスクが高い状況の回避
3. 感染が発生した場合に備え、参加者・関係者等への確実な連絡と行政機関による調査への協力

以上の対応が整わない場合や、こうした対策を行っていても、その時点の全国や県内の感染状況に応じて、大会の急な中止の対応をお願いすることがある。

２　大会中の具体的な感染防止対策

1. 基本的な感染症対策

ア　競技会場において、手洗いや咳エチケット（マスク着用の指導）などの基本的な感染症対策を徹底する。

イ　会場出入口には消毒薬を設置し、トイレに石鹸等を準備するなど、適宜手洗いや消毒ができる場を確保する。

ウ　主に参加者の手が触れる場所をアルコールや次亜塩素酸ナトリウムを含有したもので拭き取りを定期的に行う。

エ　密閉空間を避けるため、定期的に会場内に外気を入れる換気を行う。空調や衣服による温度調節を含めて、温度・湿度管理に努める。その際は熱中症にも注意する。

オ　密集場所を避けるため、人が集まる観客席、控え所等では１～２メートル程度間隔を空けさせ、更衣室等の利用にあたっては短時間の利用としたり、一斉に利用したりしないよう指導する。また、会場への出入りに時間差を設けるなど動線を工夫する。

カ　密接場面を避けるため、握手やハイタッチ、肩を組むなどの身体的接触を避け、近距離での会話や発声はしないようさせるとともに、応援は拍手のみで行うように指導する。

また、競技中については、中央競技団体が作成している競技別ガイドラインに従う。

キ　参加者は大会等の２週間前から健康チェックシート表を記録し、その表は学校ごとに保管する。当日の参加については、大会２週間前のチェック状況から適切に判断すること。ただし、各競技で別に判断基準を定めている場合は、その基準を尊重する。

ク　引率者は、試合前に選手の健康状況（検温状況含む）を確認し、体調不良の選手がいた場合には、「（２）当日、生徒に発熱等の風邪の症状がみられる場合の対応」に従って対応する。

ケ　競技中の水分補給に関してはチーム共用を避け、個人のものを使用する。

コ　共有物の適正な管理又は消毒を徹底する。

サ　試合場への出入りは試合当日に出場する選手及びマネージャー、顧問、引率者、役員、審判、補助員のみとし、競技終了後生徒はすみやかに退出し帰宅させる。

シ　会場に観客を入れる場合には、以下に配慮し周知すること。また、その時点の全国や県内の感染状況に応じて、入場制限や無観客試合を行うことがある。

　　①発熱の症状等がある場合や、非接触型体温計等を使用して検温し、３７．５℃以上の熱がある場合は入場を断ること。

　 ②観客同士が密な状態とならないよう、必要に応じ、あらかじめ観客席の数を減らすなどの対応をとること。

　　③大声での声援を送らないことや会話を控えること。

ス　バスや公共交通機関を使用して移動する際は、必ずマスクを着用するとともに、可能な限り換気に努めること。また、密集空間を避けるため、会場への移動はバスの台数を増やす等の対応を検討すること。

セ　参加者に出したゴミを持ち帰るように呼びかけること。

ソ　大会に参加した者の中に感染者が出た場合には、その他の参加者に対して連絡をとり、症状の確認、場合によっては保健所などの公的機関に連絡がとれる体制を確保する。

タ　大会に参加した個人は保健所などの聞き取りに協力し、また濃厚接触者となった場合には、感染者と最後に濃厚接触をした日の翌日から起算して２週間の自宅待機の要請が行われる可能性がある。

1. 当日、生徒に発熱等の風邪の症状がみられる場合の対応

ア　発熱等の症状がみられる場合、大会出場を認めない。（各学校で指示しておくこと。） イ　当日、急に症状が出た場合、引率者は保護者及び各学校の管理職に連絡し、帰宅さ

せる。

ウ　体調不良の選手の健康状況については、引率者から専門委員長に報告し、専門委員長は大会運営に支障がある場合には、その結果を県高体連に報告する。

エ　引率者は、他の選手等の健康観察を徹底する。

（３）大会等の開催前後で、参加者の中から感染者等が判明した場合の対応

　　　ア　「学校における感染症予防対策ガイドライン別添資料2020.8 Ver.2」（令和２年８月県

教育委員会策定）(<https://www.pref.kagawa.lg.jp/documents/15173/kansensyougaidorain.pdf)>

に基づき対応する。

イ　大会に参加した者の中に感染者が出た場合には、その他の参加者に対して連絡をとり、症状の確認、場合によっては保健所などの公的機関に連絡がとれる体制を確保する。

ウ　感染が確認された場合は各学校や行政機関指示に従い、その経過等については、県高

体連に報告すること。県教育委員会と協議の上、その後の大会運営に支障があると判断

した場合は中止することがある。

３　その他

ア　本人及び保護者に参加の意思を確認するとともに、それを尊重すること。

イ　新型コロナウイルス対策における学校の対応について、県教育委員会から通知があった場合は、それを優先して遵守すること。

ウ　香川県新型コロナウイルス対策本部会議で示されたその時点の対策期（警戒期）における対策( https://www.pref.kagawa.lg.jp/kenkosomu/kikikanri/wwf4tq200311154937.html)

を遵守すること。

香川県高体連少林寺拳法専門部

香川県高等学校総合体育大会少林寺拳法競技大会

開催にあたっての安全対策

１．大会を開催するにあたって

　（１）大会参加の有無は各高校に任せる。（強要はしない）

　（２）大会会場は、**無観客**とし、会場への出入りは試合当日に出場する選手及びマネージャー、引率者、役員、審判のみとする。

　（３）上記(２)以外の大会会場への入場は、学校の許可したアルバム業者と報道関係者とする。（保護者や道場の指導者も入場できません。）健康チェックシートを受付に提出する。

　（４）参加校の引率教員は、必ず選手及び保護者から大会参加の承諾をとり校長の責任のもとに申し込みを行う。なお、参加承諾書は大会当日朝、引率教員が回収し２週間保管する。

　（５）参加する選手は、大会中だけでなく日頃から感染症対策を行い２週間前より健康と行動記録をとり保管する。必要とする状況があれば提出してもらいます。

　（６）発熱等の症状が見られる選手がいた場合、その選手の大会出場は認めない。大会中に関しても引率者は選手等の健康観察を徹底し、仮に発熱等が見られた場合は速やかに帰宅させ保護者に連絡をする。また、その旨を競技委員長に必ず報告をする。

２．大会中の具体的な感染防止対策について

　（１）会場内にいる者は、マスクを着用する。

マスクの代替として市販フェイスシールドの着用も可。なお演武中の選手は除く。

　（２）出場する**選手**及び**マネージャー**、**引率者**、**役員**、**審判**は、当日の朝に必ず　検温をしてくること。入場前に仁王門の前で、消毒とカメラ検温検査を受けて許可を受けて入場して下さい。

　（３）ウォーミングアップは各校ごとに時間を設定し、密集を避けて行う。また、熱中症にも十分注意する。

　（４）各校の引率教員は、生徒の健康観察を徹底する。

４　競技運営上の感染対策留意事項

（１）大会会場への入場制限及び競技方法等について

大会関係者（競技役員・審判員）、選手、各校1名までの帯同生徒（マネージャー等）、各校引率者のみ入場可能とする。

（２）開閉会式について

開閉会式は縮小して実施する。表彰式を行う場合、プレゼンターはマスク着用および手指消毒を徹底する。

（３）大会参加について

①大会参加者は、原則として終日マスクを着用する。出場選手は競技の時以外はマスクを着用するものとする。（大会開催地や、会場への移動を含む）

（４）競技の流れについて

①招集場所には裸足で集合し、マスクを一時保管できるビニール袋等を持参・携行する。招集場所でのウォーミングアップはマスクを着用して行うこと。演武修練を伴うウォーミングアップを行う場合は、有声の気合は出さない。また、周囲との接触を避けること。招集場所の状況に応じて、演武修練を伴うウォーミングアップは禁止する場合がある。

②招集場所ではマスクを着用し、出欠点呼を受ける。点呼で名前を呼ばれた際は、返事ではなく手を挙げる。

③その他、会場内での立ち居振る舞いや、移動の際の間隔やアリーナ内（会場内）での整列間隔や整列場所など、招集担当役員からの説明・諸連絡（マスク着脱の手順や審判員への儀礼、競技終了後の退場方法など）を受ける。

④マスクを着用したまま入場する。その際、間隔を保ったまま移動する。

⑤入場後、審判員・役員の指示で選手待機場所へ移動する。待機中もマスクを着用する。

⑥順番がきたら、ネクストコーナー（次演武者待機場所）へ移動し、マスクを外してウォーミングアップを行う。その際、手指消毒、膝から下の消毒（主に足底）を行うこと。（消毒薬と紙製タオルを使用。発生したゴミはネクストコーナーに設置されたゴミ箱へ捨てる。）マスクについては、一時保管用のビニール袋等に入れ、ネクストコーナーの荷物入れに置く。

⑦コートでの呼び出し係に名前を呼ばれた際は、返事ではなく手を挙げる。団体演武については、学校名を呼ばれたら代表者１名が手を挙げる。

⑧コートに入場し演武を行う。有声の気合を出して演武を行ってよい。（心配な場合は、マスクを着用して競技を行ってよい。その場合、熱中症や運動中の呼吸に注意すること）演武終了後は、コートから速やかに退場し、手指消毒、膝から下の消毒を行い、ネクストコーナーの荷物入れの各自のマスクを着用し、その種目の全ての演武が終了するまで待機する。

⑨新型コロナウイルス感染症の感染状況に応じて、出場当日に急遽、有声の気合は認めず、無声の気合のみでの演武や、マスクを着用したままでの演武（この場合、競技中にマスク位置を修正するためにマスクに触れたとしても減点とはしない）での大会参加を指示する場合もある。

⑩審判員は競技中も感染症対策として、フェイスシールド又はマスクを着用し、通常よりもコートから距離を空けて、主審席・副審席を設営する（２ｍを目安）。

（５）声援について

会場内における大きな声での声援は禁止する。

（６）会場での入館、退館について

本専門部が定める経路で入退館を行うこと。

（７）更衣について

道衣への更衣については、男女共には更衣室を使用すること。その際、密を避けるため、主催者側で更衣室での入場制限を行う場合もある。

（８）手洗い・うがいの徹底、移動について

①競技前後等、こまめに手洗い・うがいを励行する。

②手指の消毒だけでなく、出場者はこまめに足底の消毒も行うこと。

③主催者で消毒薬などの準備は行うが、大会会場内外で各自が使用できる消毒薬を持参し、各所で使用すること。

④飲食の際は手洗い・手指消毒を行い、人と向かい合わず、話さずに行うこと。

　　　⑤大会会場への移動については、周囲との接触を可能な範囲で避けること。（公共交通機関

　　　　を使用する場合は、混雑する時間帯を避ける、または可能な範囲で公共交通機関を使用しない等）

（９）大会参加前の行動記録

①大会に参加する者は、参加までの２週間の行動について、出場選手としての自覚ある行動を行うこと。

②提出された関係文書はその内容を、保健所、医療関係者や開催地行政関係者へ情報提供を行う場合もある。

③大会関係者には会場内への立ち入りを許可するIDカードを発行する。

受付または、部長監督引率者会議で配布する。

（１０）清掃、消毒（ウイルス除去）、換気

①演武を行う競技場は、定期的に清掃、消毒を行う。また、会場内の施設（廊下、トイレ、ドアノブ、テーブル、イス等）、使用する物品についても定期的に清掃、消毒を行う。

②窓を開けるなど、会場の換気を行う。

③主審席、副審席はコートから２ｍを目安に間隔を空けて設置する。

④感染予防のため、大会参加者は各自でゴミの持ち帰りを徹底する。

（１１）密集、密接の回避

選手待機場所等において密集・密接にならないよう注意し、必要に応じて大会関係者より指導・助言を行う。また、感染防止のため主催者が実施すべき事項や参加者が遵守すべき事項をあらかじめ整理し、チェックリスト化したものを適切な場所に掲示する。

（１２）その他

感染拡大防止の観点から、保健所、教育委員会、主催者の総合的な判断により、出場を認めない場合もある。

◎本文書に関する問い合わせ先

　　香川県高体連少林寺拳法専門部委員長　大西　博文

　　　〒768-0068　観音寺市天神町1-1-15　　香川県立観音寺総合高校

　　TEL：0875-25-3168　　FAX：085-25-3169

　　　Mail：dekiya2000@yahoo.co.jp